

# 藤友



2018 新春号

No. 405

# 新年のご挨拶

謹んで新春のお慶びを申し上げます



代表取締役 高藤 元太郎

本年もどうぞ  
よろしく願い致します



## 第 7 3 期 経 営 方 針

絆の再結でチームワークを

### 1、信用・・・・・・・・信頼される人と企業

最近、企業のコンプライアンスが大きなニュースとして取り上げられています。反社会的な不祥事は、企業の存続にかかわる大問題です。「信用」ということが、いかに大切であるかということ伝えていきます。

我々の業界は、特に出来上がった作品を購入するのではなく、受注により今から工事を施工し、建物を完成させるの、どんな建物が出来るのか、施主様にとっては不安な一面もあります。だから、我々は「信用」を買っていただいているのです。

成熟社会。人口減少社会では、業界の工事量は必ず小さくなってきます。その中で、生き残るためには、まず「信用」が最重点です。施主様の満足される建物を提供することが使命です。

### 2、信念・・・・・・・・確固たる中心軸

進学、就職、結婚など、様々なところで物事を選択しなければならぬ場面がありますが、何を基に何を選ぶのか、選択に迷ってしまうことがあります。迷わず選択するには、どちらが自分にとって正道なのか普段から、自分の人生設計を思い描いておく必要があります。仕事においても同じ事で、常にどちらが正道なのかを判断し、ブレない確固たる中心軸を持つ事が大切です。

### 3、信義・・・・・・・・実行力で責任を果たす

信義とは、約束を守り、義務を果たすということですので「信用」とか「信念」を実践し、実行するということです。頭の中で、理解するだけでなく、行動し実現せねばなりません。看板に偽りなし、愚直に一步一步前進する事です。

あらゆることに約束を守り、義務を果たすことが、存在価値ある企業に成長することです。

辛くても、苦しくても、信義を守る。経営こそ明日の発展につながります。

今ほど不確実で不安定な時代は、過去にあったでしょうか？この現実を受け止め、いかに生きるか？まさに問われています。どんな時代、どんな試練や困難にも耐える備えが必要です。

第73期経営方針  
絆の再結でチームワークを

1. 信用  
信頼される人と企業
2. 信念  
確固たる中心軸
3. 信義  
実行力で責任を果たす

ゼロ災害 緑の継続  
高藤建設株式会社

## 目標達成・安全祈願

12月1日、当社は第73期期首に当たり、戸上神社にて毎年恒例の目標達成と工事の安全を祈願しました。祈願終了後、全員朝礼で、社長から今期の経営方針の趣旨説明を受け、各部門長がそれぞれの部門目標を発表しました。社員一同目標達成とゼロ災継続に向けて心をひとつにしました。



**第73期  
ゼロ災実現計画**

1. 基本理念 人命尊重(安全はすべてに優先する)

2. 基本方針 一步踏み込んだ、先手、先手の安全管理

スローガン 心にも しっかり締めよう 安全带

3. 目標

「安全」労働災害	0
「衛生」業務上疾病	0

4. 重点実施事項

墜落・転落・重機 災害の撲滅

a. コミュニケーションのとれた、職場づくりの推進  
b. 状況変化、職に入る前の準備  
c. 責任者による対話指導の強化  
d. 心と身体の健康管理

高藤建設株式会社  
高藤建設安全衛生協会の

## 継続は力なりで本年もゼロ災

あけましておめでとうございます。

旧年中は、協力会の安全衛生活動ならびに労働災害防止のため多大なるご尽力とご協力をいただき誠にありがとうございました。

おかげさまで、昨年一年間も無事故・無災害で過ごすことができ、また様々な事業も順調に行う事ができました。

現在、ゼロ災害は2年2か月継続中（2017年12月現在）となっておりますが、これもひとえに高藤建設様のご指導ならびに会員の皆様の安全意識の高さによって成し得られたことであり心より感謝申し上げたいと思います。

『継続は力なり』とはいえ、漠然と継続するだけで成果を得られるほど簡単なことではありません。

どうか本年も、高藤建設様そして会員の皆様方のお一層のご支援を賜りますように宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、新しい年を迎え高藤建設様の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念致しまして年頭の挨拶とさせていただきます。

ご安全に。



高藤建設安全衛生協会

会長 瀬口 昇司



## 西日本FH北九州ビル

▽ 発注者	株式会社 西日本シティ銀行 様
▽ 設計監理	株式会社 日建設計 様
▽ 施工	鹿島・高藤・若築特定建設工事共同企業体
▽ 工期	平成28年3月1日～平成29年9月30日
▽ 規模	RC造地下1階、S造地上8階 延床面積7,297.07㎡
▽ 工事場所	北九州市



## 《完成して一言》

小倉の中心部に西日本FH北九州ビルが完成しました。外部はスチールカーテンウォール、PCカーテンウォール、内部はリン酸パネルを多々使用し、「鉄の町北九州」のコンセプトに沿った重厚感ある建物に仕上がりました。特に全面ガラス張りの外壁からの彩光は、内装をととても引立たせていました。

1階はATMをメインに、2、3階は主に預金や融資のお客様窓口である北九州営業部、4階は証券、保険、リースを取り扱うグループ関連企業のテナントスペース、5階は事業資金相談や創業を支援する窓口を設け、6階は北九州総本部、7階にセミナールーム、最上階には屋上庭園もあり、北九州経済の更なる発展に寄与する為、ワンストップでスピーディに多種多様なお客様のニーズに対応できる建物となっています。

今回は鹿島・高藤・若築特定建設工事共同企業体として施工に携わらせて頂きましたが、地域の皆さまに貢献できる建物建設の一翼を担わせて頂きました事を感謝申し上げます。

西日本シティ銀行様の益々のご繁栄を心よりお祈り申し上げます。



【建設部 長野】



## れんげ心の花保育園

- ▽ 発注者 社会福祉法人 栄法会 様
- ▽ 設計監理 株式会社 さくら設計工房 様
- ▽ 工期 平成29年2月6日～10月31日
- ▽ 規模 RC造4階建 延床面積 885.76㎡
- ▽ 工事場所 北九州市



### 《完成して一言》

昭和47年に建設された乳児保育園の老朽化及び待機児童の受入れを考慮しての建て替え工事です。

外観は地中海をイメージし、三萩野の住宅街で目を引く建物となっています。

内部は子供に優しい造りとなっており、園の方針である『あったか笑顔のやさしいおうち』にピッタリの建物となりました。



【建設部 平湯】

## 吉村こどもクリニック

- ▽ 発注者 医療法人 吉村整形外科医院 様
- ▽ 設計監理 株式会社 東洋アンドアソシエイツ 様
- ▽ 工期 平成29年6月15日～10月17日
- ▽ 規模 RC造3階建 延床面積 689.22㎡
- ▽ 工事場所 北九州市



### 《完成して一言》

3階建の既設建物を内外装改修して、新たに、こどもクリニックを開院する工事です。

居住されている中、騒音などご迷惑をお掛けしましたが、特にエレベーターの新設や内装は、大変喜んで頂きました。

お施主様、設計事務所様をはじめ、近隣の方にも協力頂きながら工事を進め、お陰様で無事完成出来ました。ありがとうございました。



【建設部 松尾】

## 富田鉄工

- ▽ 発注者 株式会社 富田鉄工 様
- ▽ 設計監理 高藤建設株式会社福岡支店一級建築士事務所
- ▽ 工期 平成28年10月1日～平成29年3月31日(工場)  
平成29年7月25日～平成29年11月30日(事務所)
- ▽ 規模 S造平屋建 延床面積1,180.67㎡(工場)  
S造平屋建 延床面積192.85㎡(事務所)
- ▽ 工事場所 熊本県上益城郡



## 《完成して一言》

熊本の震災復旧に伴う新築工事でした。初めて足を運んだ時はその凄惨な光景にショックを受けました。既存の工場は大きく傾き、水平な場所がほとんどなく、工場が完成した時はお施主様が「平らな所で仕事ができる」と喜んで下さったのが印象的でした。

熊本でお世話になった様々な方々の力添えがあったからこそ、不慣れな土地で無事故無災害で竣工できたのだと感謝致しております。

本当に有難う御座いました。



【福岡支店 宇佐見】

## 博多港運鉄鋼物流センター

- ▽ 発注者 博多港運 株式会社 様
- ▽ 設計監理 高藤建設株式会社福岡支店一級建築士事務所
- ▽ 工期 平成29年6月5日～11月30日
- ▽ 規模 事務所棟 S造2階建 延床面積329.78㎡  
休憩施設棟 軽量S造平屋建 延床面積81.40㎡
- ▽ 工事場所 福岡県直方市



## 《完成して一言》

この建物は博多港運株式会社様の鉄鋼物流の拠点となる新事務所です。外部は茶色を基調としデザインパネルを使用することで暖かみのあるデザインとなっております。

内部は濃い色彩とすることでモダンな仕上がりがとなりました。

工事期間中は、施主様をはじめ協力業者各位の方々のご理解とご協力により無事故、無災害で竣工できました。ありがとうございます。



【福岡支店 原田】

## 只今施工中 宗像陸運(株)多の津倉庫新築工事上棟



上棟の状況



上棟式で挨拶される古賀社長



12月の状況

発注者：宗像陸運 株式会社 様  
 工期：平成29年5月9日～平成30年5月15日  
 規模：S造5階建 14,416㎡

6月1日に起工式を終え約5ヶ月が立ち、現場の4階から、外壁施工前の今しか見ることのできない真横を通る新幹線を見下す高さまで鉄骨が上がり、11月9日に無事上棟式を迎えました。

その際古賀社長様より感謝と激励の言葉を頂き、自分たちが任されているという責任感を感じ、改めて気が引き締まる思いをしました。

竣工まであと半年、おもに菓子類などを保管する定温倉庫としての断熱や設備工事などが続きますが、無事故・無災害で竣工式が迎えられるよう工事を進めてまいります。

【福岡支店 千住】

## 大規模病院の建設工事を受注

当社は、このたび社会医療法人北九州病院様から（仮称）北九州宗像中央病院移転新築工事を受注致しました。建設地は、昨年世界遺産に指定されました宗像大社や関連遺産群のあります風光明媚な福岡県宗像市で、鉄筋コンクリート造地下1階地上6階建ての大規模病院を建設する予定です。

当社の過去の施工実績でも特に大型な物件で、これまでの当社の病院建設の実績を評価して頂き、ご下命頂きました社会医療法人北九州病院様へ感謝申し上げますと共にご期待にそえる様万全を期して施工して参りたいと存じます。

【営業部 大江】

## 安全安心な門司を目指す日

平成29年12月1日に門司港の旧大連航路上屋で開催された門司区役所をはじめ門司警察署、門司消防署など35団体が合同で主催する「安全安心な門司を目指す日」の年末警戒行事に参加し、参加者一同交通安全と防災防犯の推進を誓いました。

今年も年末の交通安全県民運動が始まりました。この運動は「飲酒運転ゼロ」、「高齢者を事故から守ろう」を重点項目とし、特に運転者は、よく見る早く見つけるを心掛ける交通安全事故ゼロを目指すことです。県内の交通事故発生状況は、年々減少傾向にありますが、高齢者の事故数は増加しています。また飲酒運転の検挙率は全国ワーストです。

特に飲酒を伴う会合には公共交通機関を利用する事はもちろん、翌日に車を運転する予定がある場合は、飲酒量、飲酒時間に十分注意をするなどを徹底する運動を展開するものです。

当社としては「高齢者にやさしい運転」「飲酒運転撲滅」を心がけるように、安全衛生責任者会議や朝の放送で呼び掛けを実施しています。



【管理部 田中】

## PQC発表大会

今期も当社の品質管理システムPQC (Paperless Quality Control) の発表大会を本社3階会議室で開催しました。

平成29年10月19日にフェーズ1 (本支店各部門)、11月15日にフェーズ2 (主な現場) にそれぞれ計21チームがエントリーしました。

この大会は、年間を通じてそれぞれが普段携わっている日常業務を改善し、その内容を発表するものです。各部門、現場が工夫を凝らし、業務を通じて品質向上に取り組んでいる様子が見て取れ、とても今後の成果が期待出来ました。

審査の結果、どれも甲乙付け難い内容でしたが、次の3部門、2現場が優秀賞に選出され表彰されました。今後も継続してさらに改善し進化を続けて参ります。

【推進委員長 萬田】



### ☆優秀賞☆

フェーズ1 … 大阪支店管理部、福岡支店建築部、福岡支店管理部

フェーズ2 … 御旅第3作業場建築工事現場、昭和学園グループ 新築工事現場



### 優秀賞を頂きました

PQC発表大会フェーズ1 (本支店各部門) で優秀賞をいただきました。

2年目ということで今年度はペーパーレス化をより意識しつつ、日常業務で生じる小さなミス・重複処理の軽減、システムの簡易化による作業効率の向上に向けて改良を進めていきました。

発表を前に、ファイルメーカーに対しての自分の現状の能力が周囲に劣っていないか不安な面もありました

が、結果高い評価をいただき大変嬉しく思っております。

今回の経験を活かし、今後も自身の能力を高めつつシステムの更なる品質向上を目指し精進して参ります。

【大阪支店 鶴原】

今回初めてPQCのフェーズ2発表会に参加させて頂きました。今まで自分の担当以外の現場状況を知る機会は少なく、諸先輩方の発表は興味を引くものばかりで、とても勉強になりました。

今回当社でも施工実績の少ない木造建築を担当しましたので、S造やRC造にない瓦葺で強風や地震に耐えられる防災瓦を取り付ける細かな工夫した事などを中心に発表しました。また発表用の資料を作成することで

新たな発見もあり、知識、モチベーションの向上にもつながりました。

今後も改良、改善に積極的に取り組み、知識や技術向上の機会としたいと思っております。

この度の身に余る評価本当に有難う御座いました。

【福岡支店 原】



## PQC発表大会

### 優秀賞を頂きました

今回、現場で仮設備や現場運営等について工夫したことを発表させていただきました。1つ1つの項目としては、小さな事項ばかりでしたが、この小さな工夫の積み重ねが優秀賞という高評価を頂いたのではないかと思います。これからも、細部にまで目を行き届かせて創意工夫をしていきたいと思えます。

今後はB I Mの活用等、現場の実務はもちろんのこと、事務における無駄を省き、タブレット端末を有効利用し、P Q Cを意識した現場運営・業務の効率化を目指していきます。



【大阪支店 古賀】



P Q Cフェーズ1（本支店各部門）の発表大会に参加させていただきました。

本支店各部門の発表は大変興味深いものばかりで、この機会でないとは詳しく知ることのできない取り組みについて学ぶことができ、とても良い機会となりました。

私自身、福岡支店管理部が今年度から進めて参りました、よりよいデータベースの管理と業務の効率化に着目し、改良を重ねた内容についての発表に高い評価を頂き、自信につながりました。今後も常に現状に満足せず改良を進めて参りたいと思えます。

【福岡支店 田口】

## あれから40年

昭和49年3月に9名で入社し、現在私1名在籍となりました。

入社後、最初に配属された現場は高層公営住宅建設現場でした。配属された当日から現場泊となり、仕事とプライベートの区分が難しく悩んだ時もありました。その環境に順応したのか仕事を早く覚えなければとの思いで夜遅くまで仕事しても、朝、目が覚めれば現場ですので残業も苦にならず早く仕事を覚えられたと思えます。

それから数年が経ち、昭和53年に門司港で初めて現場担当となり、着工後は緊張の連続でしたが、施主様、諸先輩、協力業者のご指導のおかげで無事工期内で完成しました。その現場の仮設足場を解体し、完成した建物の外観が現れた瞬間の感動、達成感は建築の仕事に携わってきた者の褒美の様に思えました。

その後、大阪、福岡、徳山と現場に配属された中で一番印象に残った現場が平成12年の社屋改修工事で、屋根の防水改修を行っていたとき、雨対策は行っていたのですが、突然の強風と豪雨で、その効果も得ず下の階に漏り高価な機械に雨が掛り甚大なるご迷惑と損害を与えてしまいました。現在も当時のご担当の方々によるご配慮により、変わらぬお付き合いをさせていただき感謝いたしております。

その後、C S事業部に移り今までの経験を活かし、安心して工事をご下命いただけるように邁進いたしました。と思えます。

最後になりますが、今までお世話になりました施主様、ご指導をいただいた諸先輩の皆さまに感謝いたします。今後共微力ですが会社の発展に貢献出来れば幸いです。



カスタマーサービス部  
吉原 幸也



当時の新入社員研修

## 成年

## 昭和33年生 年 男



## 購買部 鶴田 鉄男

60歳。もうではなく、まだまだの気持ちで日々勉強です。体はいろいろガタがきましたが、ストレスを溜めずに今年もしっかり歩もうと思います。

## 昭和45年生 年 男



## 建設部 江木 一雄

会社の諸先輩方、家族、私を取り巻く全ての方に支えられ早4回目の年男を迎えることができました。感謝の気持ちを忘れず健康に留意し日々邁進していきます。



## 建設部 和田 宣明

早いもので4度目の年男を迎えました。一周年前の12年間（24歳～35歳）は、就職・結婚・子供の誕生と、自分にとって激動の時代でした。それだけに、自分のことだけに精一杯でした。これからの12年間は、家庭・職場・地域でより貢献できるよう、自分を高めていきたいと思っています。



## 建設部 田中 満弘

気がつけば4度目の年男、健康に気を付け、日々努力を忘れずに、何事にも最善を尽くしこれからも‘体力一番’をモットーに頑張りたいと思います。そして、会社に貢成できるようワンダフルに努力をしていきます！



## 福岡支店 原田 政男

いつの間にか48歳となり4度目の年男となりました。ここまで無事に過ごせたのは、皆様方のご指導のお陰と感謝しております。人生の折り返し地点は過ぎたとは言え、これから進む道は今まで通ってきた道ではありません。常に先を見つめ足元を踏みしめながら会社に貢献し、共に成長していきたいと思っています。

## 平成6年生 年 男



建設部 荒牧 健太

入社して初の年男になりました。  
学ばせて頂けることが多く、勉強の毎日ですが、学んだ事を活かし日々の挑戦に繋げられるように、精一杯頑張っていきます。また、病気や怪我等なく笑顔で過ごせる年にしたいです。



建設部 原 賢志郎

入社して半年が過ぎ、社会人としての生活に慣れてきました。年男という事で、様々な事に挑戦したいと思います。分からない事ばかりでご迷惑をおかけすると思いますがご指導宜しくお願いします。



福岡支店 千住昇太郎

こうして年男を無事迎えられるのも、今まで育ててくれた両親をはじめ周りの方々のおかげだと日々感じております。感謝の気持ちを忘れずに、仕事に励んでいきたいです。まだまだ分からないことでご迷惑をかけると思いますがご指導のほど宜しくお願い致します。

## 藤栄会・藤の花会

平成29年11月4日、今年も昨年に引き続き当社のOB、OGの皆さんが高藤会長を囲んで交流会を開催しました。

初めに関係物故者への黙祷を捧げ、藤栄会会長、高藤会長の挨拶に続き、高藤社長の祝辞の後、懇親交流会となりました。

またOB、OGの皆さんは会社の近況報告をととても興味深く聴いておられ、今年の大規模竣工物件については、大変誇りに感じているとのご発言をされていました。

これからも皆様のご期待に応える様、業務に励んで参りますのでご支援のほどよろしくお願い致します。またOB、OGの皆さんの益々のご健勝をご祈念致します。【管理部 萬田】



## 編集後記

あけましておめでとうございます  
平成30年の新年にあたり皆様のご多幸を祈念  
します。  
新年を迎え、藤友編集委員一同初心に戻り新  
たな気持ちで取り組んで参ります。  
去年は弊社社屋のリニューアルを実施いたし  
ました。  
建物の正面はガラスを基調に新しい時代の先  
駆けになるイメージを出しました。  
建築は無から有を生み出す、素晴らしい仕事  
だと自負しています。共に感性を磨き、共に  
新しい時代を築く心構えでこの社屋に気持ち  
をこめました。リニューアルを機に社員一同  
さらに結束力を固めお客様の発展に尽くす所  
存ですので皆様にも一層のご支援をよろしく  
お願い致します。

### 発行

高藤建設株式会社 高藤元太郎

北九州市門司区東新町1-1-30

TEL093-381-0461 FAX093-381-0543

<http://takafuji.co.jp>



高藤建設株式会社